

建物修理進む！

二十五年
度
伝建修理事業

今年度の修理事業が、この五月より順次進められています。

伝統的建造物群保存修理事業として着工した水田家では屋根瓦の葺き替え工事の後、十一月には伝統的な方法によって土壁の修理が行われました。港町・田町の田嶋家でも修理工事が進められています。

また、昨年曳き移転を行なった旧古賀医院診療所棟の本格修理も始まり、履歴に基づいて内外部の修理が進められています。



壁を昔ながらの工法で修理する水田金物店

更には、二カ年事業で修理を行っている長福寺の旧園舎も、来年三月完成を目前に工事が進められています。



昭和初期の個人病院の形式が復原される様、修理が行われる旧古賀医院



修理が始まった田嶋家

道路の美装化工事終了

今年度の街なみ環境整備事業の一つとして行われた、大茂手町裏線（ホテル風早の前の市道）の道路美装化工事が十月三十一日に終了しました。

今回の整備区間は坂本クリーニングからE・Cの間の約百mで、石畳の舗装に合わせてグレー系のカラー舗装に工事が行われました。

市では今後も、屋外消火栓の設置を終えた路線から、順次同様の仕様に道路の美装化工事を行なって行く予定です。



舗装工事が行われた大茂手町裏線

道路に文字
入れ作業を
行う作業員



分大生豆田に民泊！

九月二十八日、二十九日の二日間、大分大学福祉科学部の学生六十名が、豆田の建物とそこに暮らす人々をテーマに視察研修に訪れ、民泊を行いながら研修を深めました。

民泊先となった富安さんは「多くの学生が県外の出身で、豆田町を訪れたのは初めてとの事でした。一夜を一緒に過ごすことで、豆田に住む人々に一層の親しみを感じてくれたならば幸いです」と語ってくれました。

後日、研修に参加した皆さんは千年あかりの「着火ボランティア」として参加しました。

着火ボランティア
として千年あかり
に参加の皆さん



豆田の町屋の建築
様式などを学ぶ学
生の皆さん

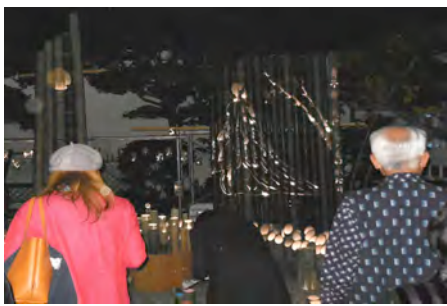


天領まつり！千年あかり盛大に！

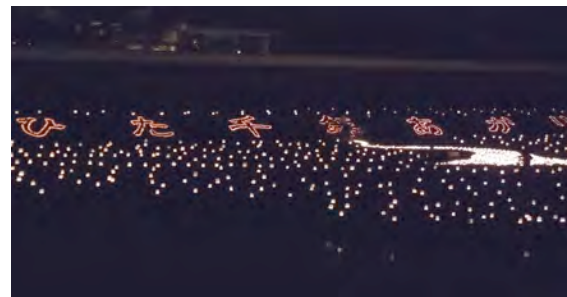
第九回千年あかりが十一月八日より十日の三日間、第三十四回天領まつりが九日・十日の二日間行なわれ、日曜日は一時雨に見舞われましたが、三日間で十三万五千人の人出で賑わいました。特に花月川河川敷は昨年の豪雨の影響で復旧の最中でありながら、関係者の協力で昨年以上のあかりが灯り、見物客の感動を誘っていました。



点火式で着火を行なう関係者の皆さん



豆田辻公園に展示した商工青年部の作品



河川敷に灯る千年あかりの文字



土曜日の通路は歩けない程の人込みで活気



郡代着任行列に参加の豆田自治会代表
中央は郡代役の井形夫妻と姫役の多嶋沙弥さん



月隈公園「食の乱」会場の舞台では
三味線演奏などの演芸が行なわれた



先人を偲んで行なわれた先哲祭
写真は挨拶を行う原田市長



祭りの路上ライブ。左より信金前のサククス演奏、雑御殿前の女性だけの祇園囃子演奏、長福寺境内のギター演奏



作文コンクール 受賞者決定！

豆田地区振興協議会が主催する「咸宜園教育遺産世界遺産登録推進小学生作文コンクール」に九十六点の応募があり、最優秀賞一点、優秀賞三点、佳作賞十点が選考されました。最優秀賞、優秀賞は「先哲祭」のなかで表彰されました。又、咸宜小学校と桂林小学校に感謝状が贈呈されました。受賞者は以下の通り

最優秀賞 工藤 桜和 (桂林小)

優秀賞 佐々木佑見子 (咸宜小)

桜木 萌々子 (桂林小)

飯田 朱音 (咸宜小)

佳作賞 原 美南 (咸宜小)、穴井 華乃 (咸宜小) 中野 蓮未 (咸宜小)、

待鳥 愛美 (咸宜小)、松尾 彩

花 (咸宜小)、宮崎 紗英 (咸宜

小) 石松 未羽 (桂林小)、山口

翔 (桂林小)、樋口 萌夕 (桂林

小) 梶原 未結 (桂林小)



咸宜、桂林の校長先生を背に、
受賞者の皆さん (1名は欠席)